



日鉄鉱業株式会社

2021年度（2022年3月期） 第3四半期 決算説明資料

証券コード：1515

2022年2月4日

決算説明資料 目次

1. 2021年度 第3四半期 連結決算概要 ……P.3
2. 2021年度 第3四半期 セグメント別連結決算概要 ……P.5
3. 貸借対照表（連結） ……P.13
4. 2021年度 中期経営計画の進捗（連結） ……P.14
5. 2021年度業績予想 ……P.15
6. 株主還元方針 ……P.18

1. 2021年度 第3四半期 連結決算概要

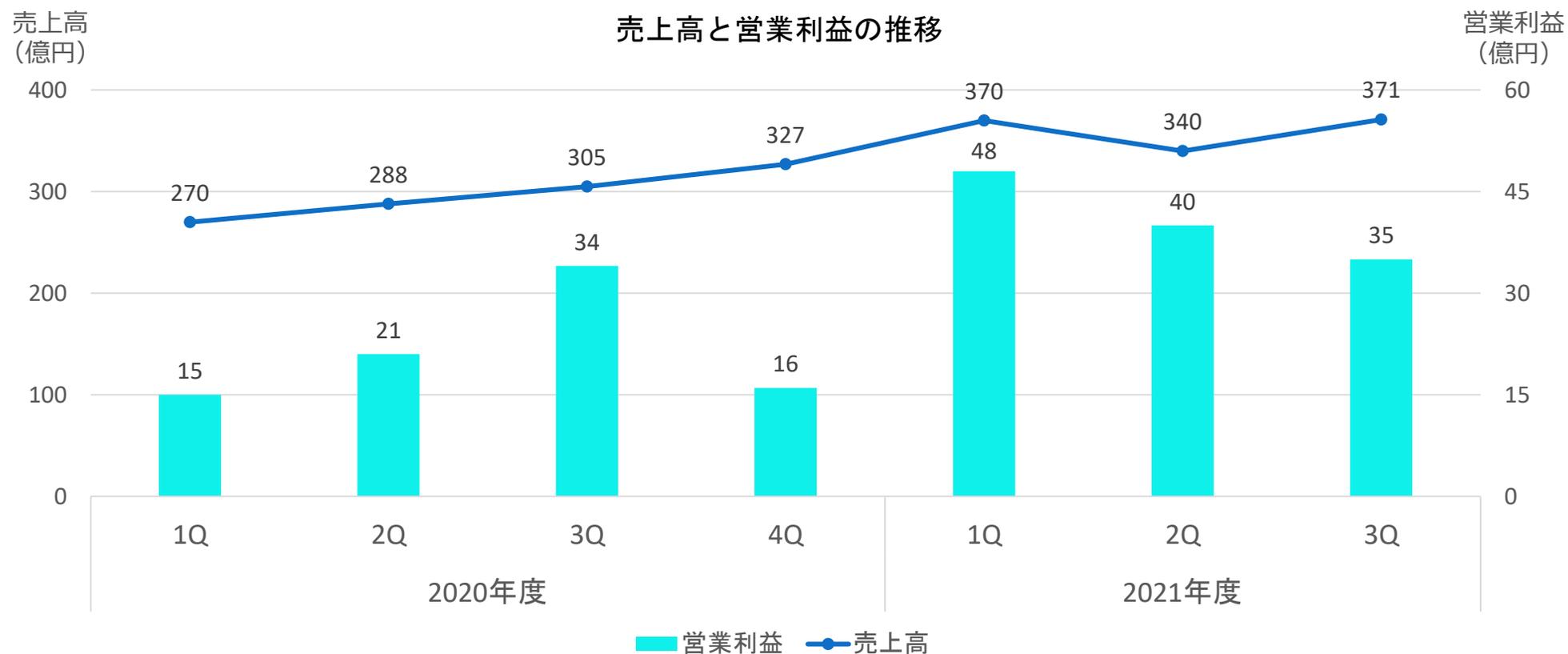
- 売上高は、鉱石部門における石灰石の増販や、金属部門における銅価上昇の影響により、増収となった。
- 営業利益及び経常利益は、鉱石部門と金属部門における増収等により、増益となった。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加により、増益となった。

(単位：億円)

<業績>	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減
売上高	864	1,081	217
営業利益	70	123	52
経常利益	78	133	55
親会社株主に帰属する 四半期純利益	46	76	29
<指標等>	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減
ROA (総資本営業利益率)	5.4%	8.4%	3.0%
自己資本比率	62.1%	60.0%	△2.1%
銅価格 (¢ / lb)	287.82	435.15	147.33
為替レート (円 / 米ドル)	106.11	111.10	4.99

1. 2021年度 第3四半期 連結決算概要 業績推移（四半期）

- 2020年度は、金属部門においては銅価上昇に伴い増収傾向となった一方、鉱石部門においては上期の鉄鋼メーカーの高炉一時休止による石灰石の減販の影響や、第4四半期には火災事故の影響による減収要因があった。
- 2021年度は、鉄鋼需要の回復による石灰石の増販と銅価の高値維持による増収の影響で、好調に推移している。



2. 2021年度 第3四半期 セグメント別連結決算概要（売上高）

（単位：億円）

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減	増減説明
資源事業：鉱石部門	375	409	33	石灰石 増収：鉄鋼需要の回復の影響による増販 燃料その他 増収：石油製品の販売価格の上昇
資源事業：金属部門	372	553	180	電気銅 増収：銅価上昇、円安の進行 銅精鉱 増収：銅価上昇 その他 増収：金の増販
機械・環境事業	81	84	2	環境商品 増収：水処理剤の増販
不動産事業	21	21	0	前年同期なみ
再生可能エネルギー事業	13	13	0	前年同期なみ
合計	864	1,081	217	鉱石部門+33億円、金属部門+180億円、機械・環境事業+2億円

2. 2021年度 第3四半期 セグメント別連結決算概要（営業利益）

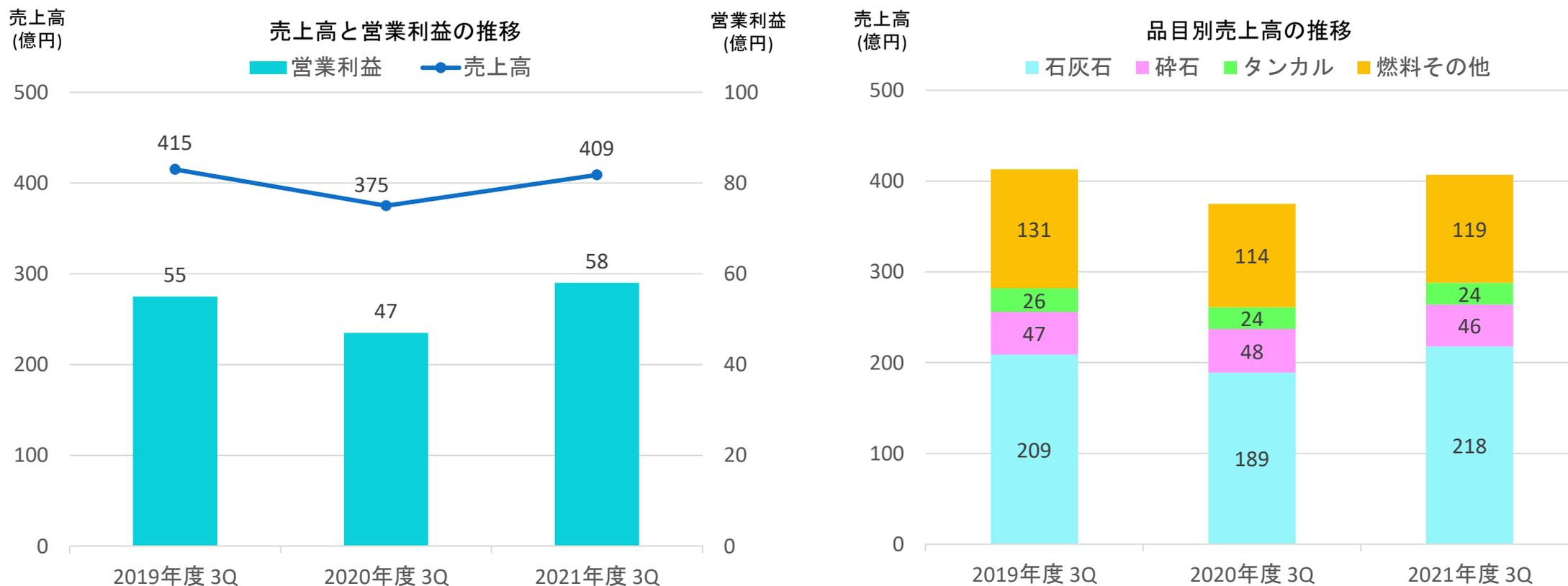
（単位：億円）

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減	増減説明
資源事業：鉱石部門	47	58	10	石灰石の増販により増益
資源事業：金属部門	12	52	39	銅価上昇、円安の進行の影響により増益
機械・環境事業	7	7	0	前年同期なみ
不動産事業	12	12	△0	前年同期なみ
再生可能エネルギー事業	3	4	0	前年同期なみ
調整額	△12	△10	1	管理費の減少により増益
合計	70	123	52	鉱石部門+10億円、金属部門+39億円、調整額+1億円

2. 2021年度 第3四半期 セグメント別連結決算概要

資源事業：鉱石部門

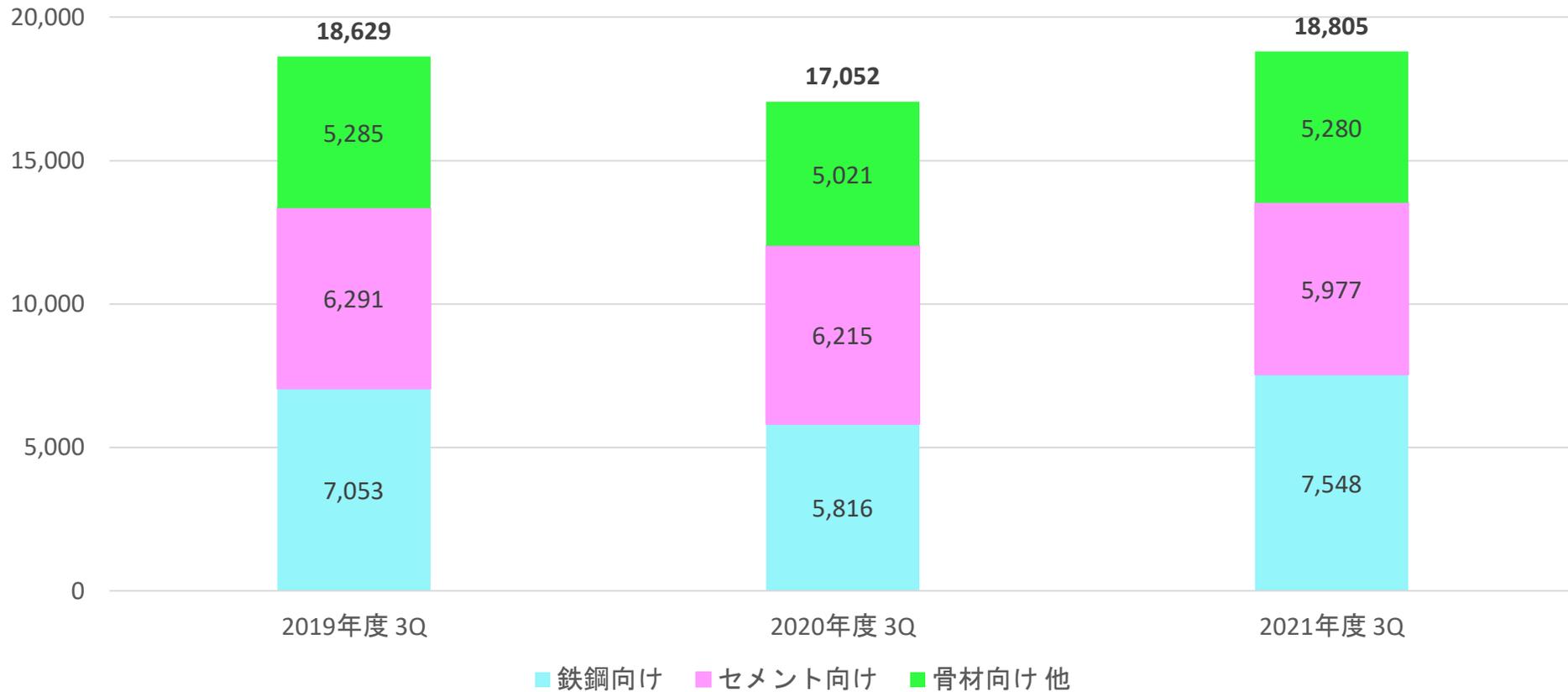
- 鉱石部門は、主力生産品である石灰石の販売数量が増加したこと等により、売上高、営業利益ともに増加した。



資源事業：鉱石部門 (参考) 用途別石灰石販売数量の推移

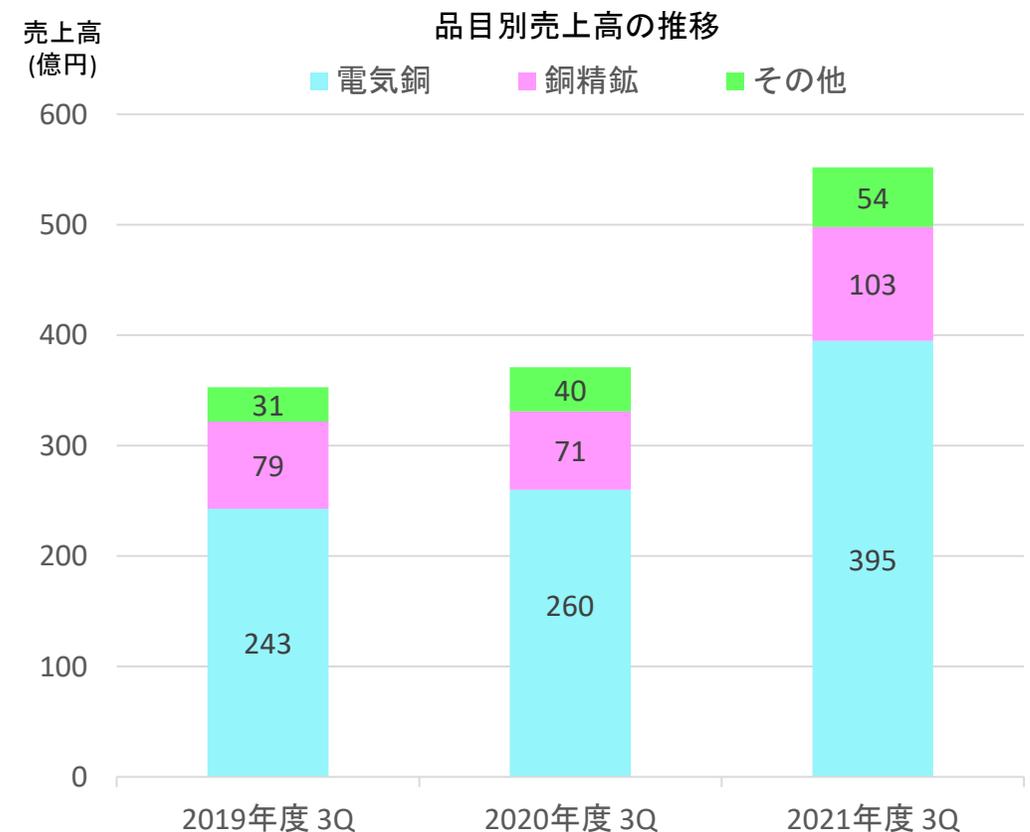
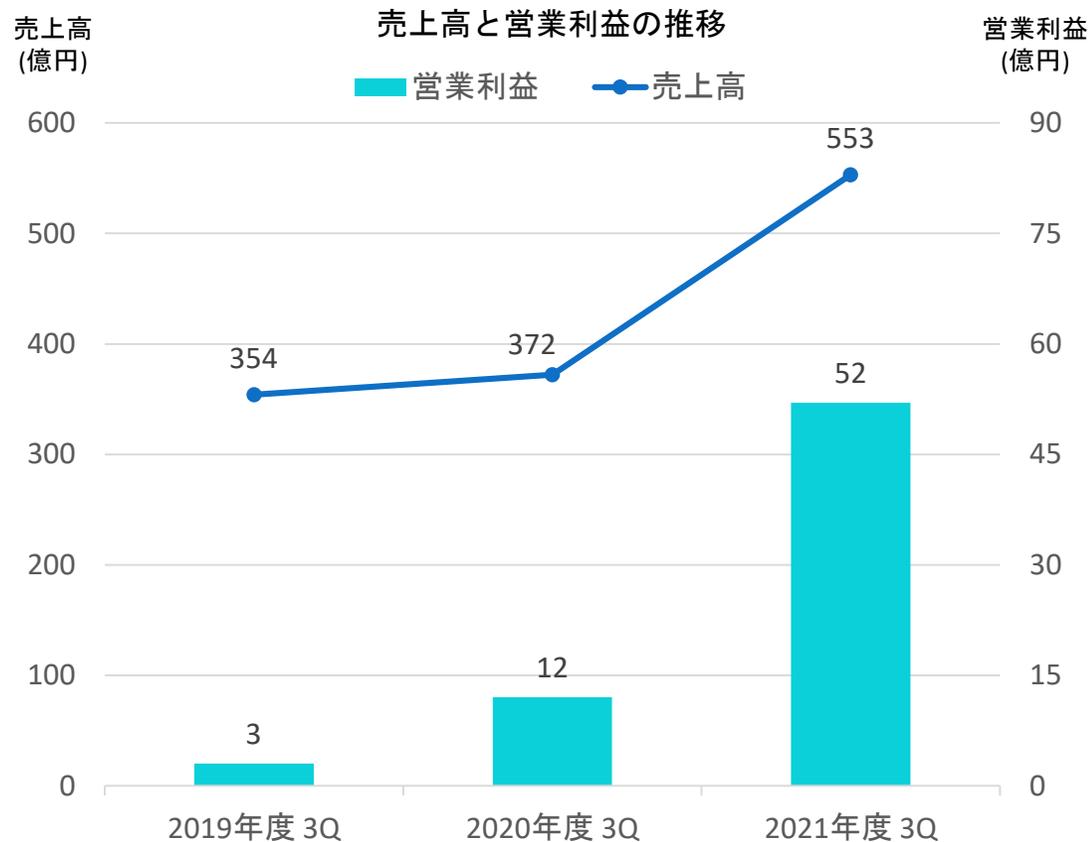
単位
(千 t)

用途別石灰石販売数量の推移



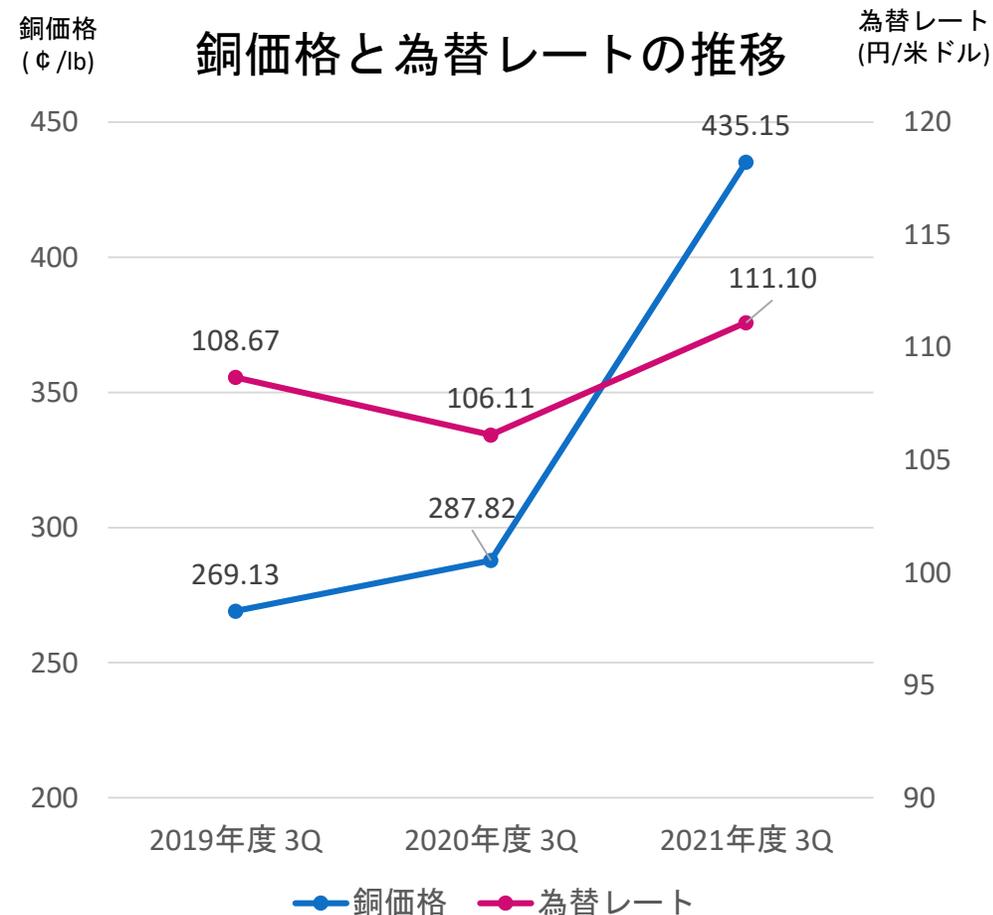
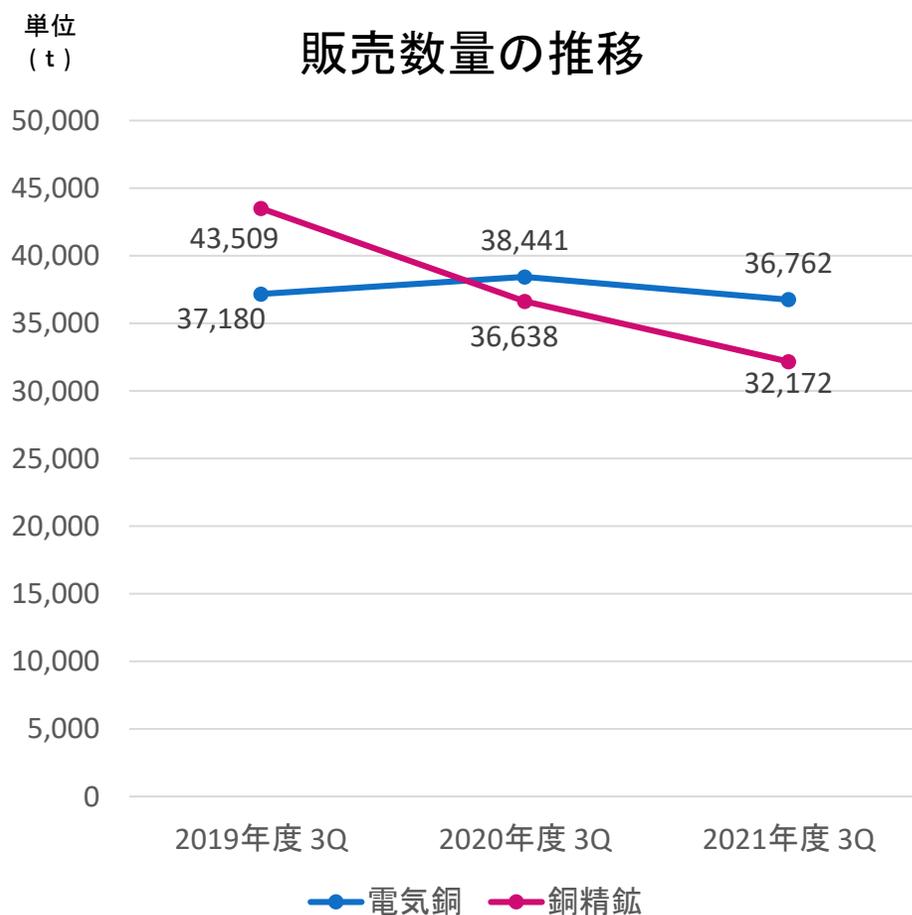
2. 2021年度 第3四半期 セグメント別連結決算概要 資源事業：金属部門

- 金属部門は、電気銅と銅精鉱の販売数量は減少したが、銅価の上昇及び円安の進行により、売上高、営業利益ともに増加した。



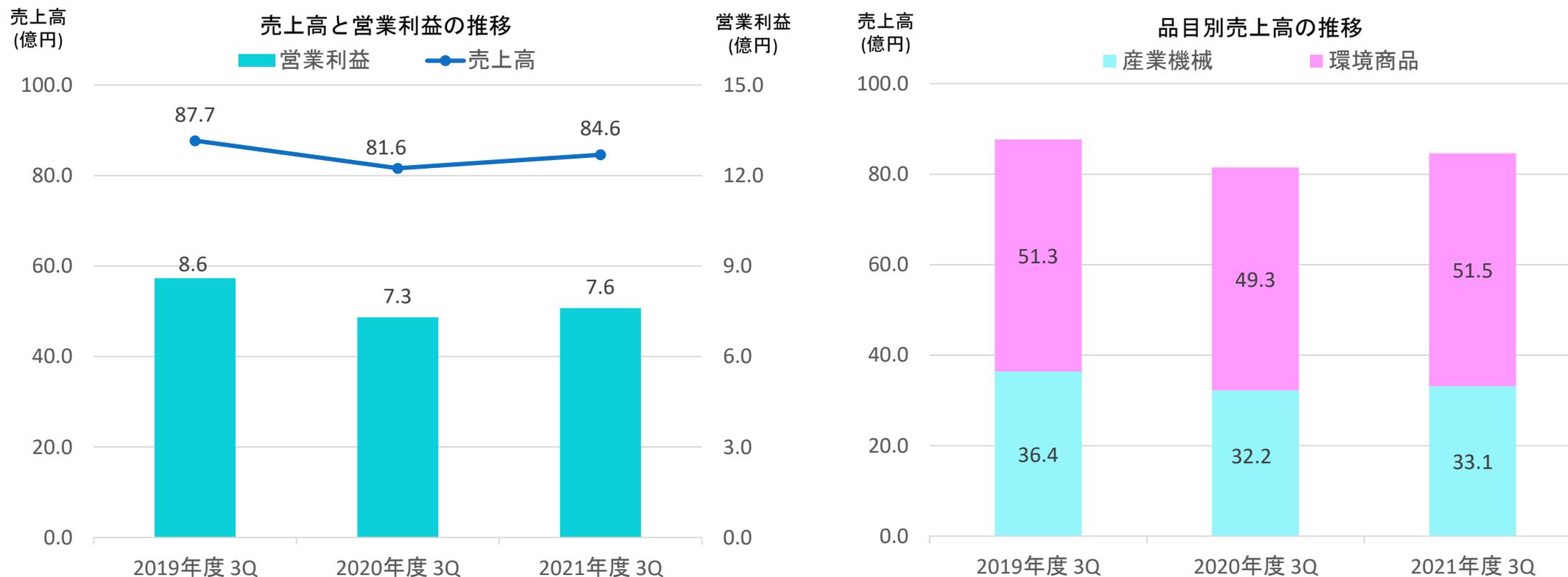
資源事業：金属部門

(参考) 販売数量の推移、銅価格と為替レートの推移



2. 2021年度 第3四半期 セグメント別連結決算概要 機械・環境事業

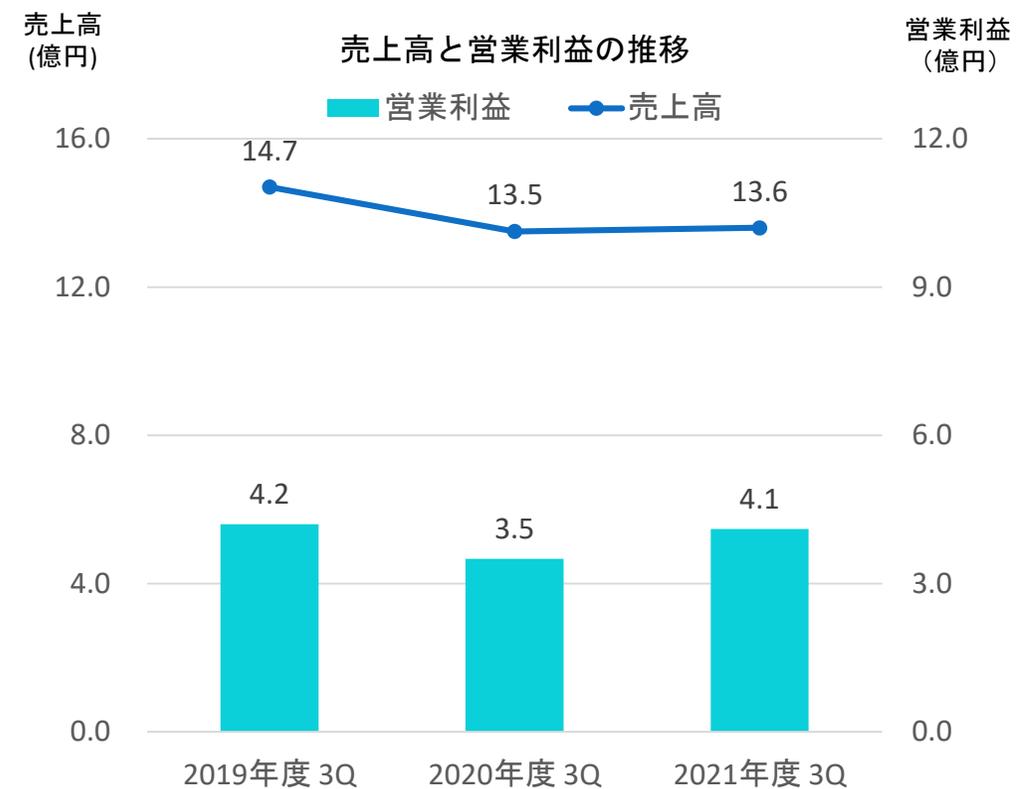
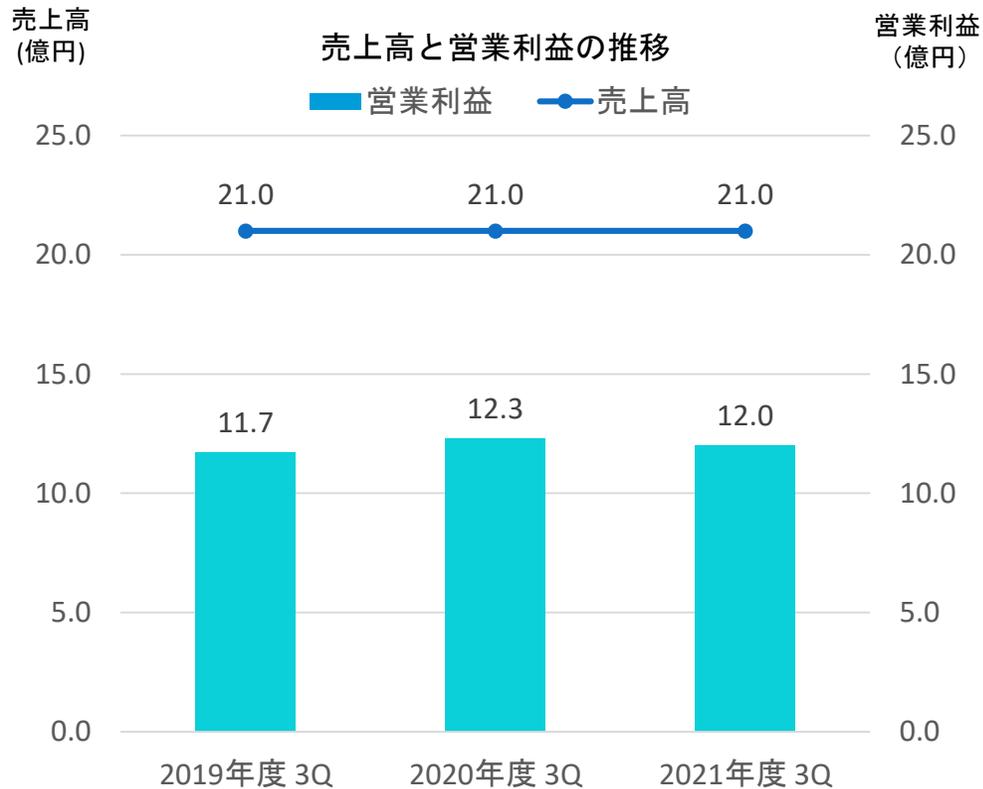
- 機械・環境事業は、環境部門の主力商品である水処理剤の販売数量の増加に加え、一部機械関連子会社における販売も順調に推移したことにより、売上高、営業利益ともに増加した。



2. 2021年度 第3四半期 セグメント別連結決算概要 不動産事業、再生可能エネルギー事業

- 不動産事業は、売上高は前年同期なみとなったが、営業利益は修繕費の増加により減少した。

- 再生可能エネルギー事業は、売上高は地熱部門の増収により増加し、営業利益は減価償却費の減少等により増加した。



3. 貸借対照表（連結）

（単位：億円）

	2021年3月31日	2021年12月31日	増減
流動資産 計	878	897	18
現金及び預金	355	258	△96
受取手形、売掛金及び契約資産	276	278	2
たな卸資産※	192	308	115
固定資産 計	1,008	1,051	42
有形固定資産	625	666	40
無形固定資産	33	35	2
投資その他の資産	349	349	△0
流動負債 計	481	481	△0
支払手形及び買掛金	175	185	9
短期借入金	164	159	△5
固定負債 計	241	241	△0
長期借入金	50	48	△2
退職給付に係る負債	44	44	△0
純資産	1,164	1,225	61
自己資本	1,110	1,168	57
非支配株主持分	53	57	3
総資産	1,887	1,948	61
<自己資本比率>	58.9%	60.0%	1.1%

※たな卸資産 = 商品及び製品 + 仕掛品 + 原材料及び貯蔵品

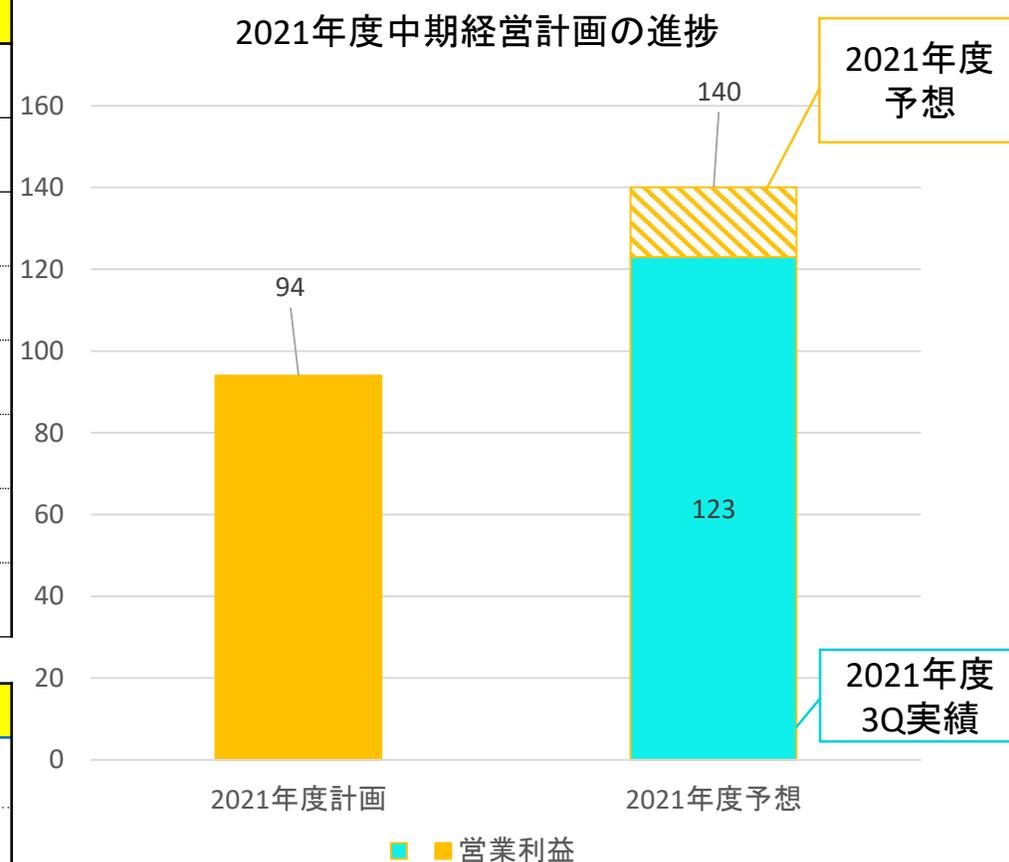
4. 2021年度 中期経営計画の進捗（連結）

◆ 2021年度計画の営業利益の3Q時点での進捗率は**131%**
 ⇒主な要因：資源事業（金属部門）の銅価上昇等による増収、増益

（単位：億円）

<業績>	2021年度計画	2021年度3Q実績	進捗率
売上高	1,284	1,081	84%
営業利益	94	123	131%
資源事業：鉱石部門	66	58	88%
資源事業：金属部門	26	52	200%
機械・環境事業	10	7	70%
不動産事業	15	12	80%
再生可能エネルギー事業	4	4	100%
調整額	△26	△10	38%

<前提条件>	2021年度計画	2021年度3Q実績	増減
銅価格（¢/lb）	350.00	435.15	85.15
為替レート（円/米ドル）	105.00	111.10	6.10



5. 2021年度業績予想（修正）

（単位：億円）

	2021年11月4日 発表時点予想	2022年2月4日 発表時点予想	増減
売上高	1,430	1,430	—
営業利益	140	140	—
経常利益	145	150	5
親会社株主に帰属する 当期純利益	75	78	3
1株当たり 当期純利益（円）	901.58	937.64	36.06
銅価格（¢/lb）	436.00	436.00	—
為替レート（円/米ドル）	110.00	110.00	—
1株当たり配当額（円）	270	280	10

経常利益：5億円上方修正
当期純利益：3億円上方修正

- 受取配当金の増加

5. 2021年度業績予想

(単位：億円)

	2020年度実績	2021年度予想	増減
売上高	1,191	1,430	239
営業利益	87	140	53
経常利益	96	150	54
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	78	41
1株当たり当期純利益 (円)	450.37	937.64	487.27
銅価格 (¢ / lb)	312.01	436.00	123.99
為替レート (円 / 米ドル)	106.06	110.00	3.94
1株当たり配当額 (円)	100	280	180

■ 感応度 (第4四半期)

(単位：億円)

銅価格	10 ¢ / lb 上昇	売上高への影響	+3.6
		営業損益への影響	+0.6
為替レート	5円 / 米ドル円安	売上高への影響	+7.4
		営業損益への影響	+0.8

5. 2021年度業績予想（セグメント別）

■セグメント別売上高、営業利益

（単位：億円）

	売上高		
	2020年度 実績	2021年度 予想	増減
資源事業：鉱石部門	501	527	26
資源事業：金属部門	538	752	214
機械・環境事業	121	118	△3
不動産事業	28	28	－
再生可能エネルギー事業	18	17	△1
調整額	△15	△12	3
合計	1,191	1,430	239

営業利益		
2020年度 実績	2021年度 予想	増減
56	75	19
18	60	42
10	9	△1
16	15	△1
4	4	－
△17	△23	△6
87	140	53

6. 株主還元方針

2021年度～2023年度：連結配当性向 30%を目途に還元

当社の主力事業である鉱山業は、調査から開発、その後の操業期間も数十年以上という非常に長期間にわたる事業です。その間には資源価格の変動などによる利益の増減が発生しますが、ライフサイクルが長いという事業特性と、持続的成長を目的とした将来の投資へ備えるため、自己資本の充実と株主還元の最適なバランスを図りながら、長期安定的な配当を実施します。

(参考) 連結配当性向実績と予想

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (予想)
17.1%	16.6%	22.2%	30%目途

注意事項

将来に関する記述等についてのご注意

- 本資料における業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



日鉄鉱業株式会社